

伊藤先生の
街かど診療室
Q & A

マイボーム腺
機能不全症について

今回は聞き慣れない病名です。しかしこの疾患かなり多くの人に関係があります。

マイボーム腺とは、目のまつげの奥と赤目(眼瞼結膜)の間にある皮脂腺のことです。両目で150本ほど存在します。この役割はスバリ眼球保護です。若い頃はさらさらした油



伊藤 勇
保谷伊藤眼科院長
大学病院で最先端の眼科医療に携わってきた眼科専門医。地域の医院との連携を積極的に図っている。

がこのマイボーム腺から滲んでいて、瞬きをするたびに目の表面を油で覆い、涙の蒸発を防ぐとともに異物から目を守り、マイボーム腺の横のつながりて涙の堤防の役割をします。しかし、年齢とともに皮膚常在菌や繰り返す炎症を契機として、油の分泌が停滞し固まってきて、本来の機能を果たせなくなつてきます(マイボーム腺機能不全症)。この結果、眼瞼炎、ドライアイなどさまざまな症状が出現して、適切な治療がされなければ悪循環に陥ることもしばしばです。

これらの予防、治療に、眼温罨法(がんおんあんぼ)が昔の眼科では行われていました。症状を和らげる点眼薬の出現によってこの治療法は衰退しましたが、根本的な治療法として現在再び推奨されてきています。この治療を手助けする薬剤、機器も登場してきました。なかなか治らないドライアイや眼瞼炎が、一昔前の治療で治ることもあるのです。

☎ 042-439-8123
西東京市北町 1-6-1
レッツビルディング 3F
<http://www.itoganka.com/>

■科目：網膜硝子体疾患手術、緑内障手術
白内障手術、眼科一般診療

■時間：水・土曜午後、日曜、祝日は休診
※緊急手術は随時対応 夜間・金曜午後は予約優先

	月	火	水	木	金	土	日
9:30~12:30	○	○	○	手術	○	○	/
14:00~17:00	検査・診察	手術	/	手術	検査・診察	/	/